

検診率、うなぎ上り願い

乳がん予防の啓蒙運動のシンボル・ピンクリボンとウナギを一体化した「浜松版、「ピンクうなぎリボン」が登場した。浜松市で乳がん治療に携わる医師らのNPO法人「がん情報局」(中区)が「地域での乳がん診療のレベル向上につなげたい」との思いを込め作った。

(勝間田秀樹)



浜松版バッジ「ピンクうなぎリボン」

ピンクリボンは乳がんの早期発見、診療、治療の大切さを伝えるシンボル。リングをあしらった青森県のバッジなど地域の運動団体ごとに微妙に異なる。がん情報局は、乳がんの市民公開講座を開いたり、患者の症例を医師らが報告しあい、最善の治療を探る合同検討会を開いている。活動の中で昨夏「地域に根差したシンボルを」と話が浮上。角谷京子看護師(三毛)がデザインした。楽器、市の

医師らのNPO法人「ピンクうなぎリボン」作製



原画を見せる角谷看護師＝浜松市中区で

花ミカンも候補になった。「浜松といえはウナギ」と最多得票した。ウナギの顔は鼻がぱっちり。まつげもある。角谷看護師は「みえる診療」の意味を込めました。全力でお世話するといふ気持ちで着けています。「シンボルができた」。「ピンクうなぎリボン」はバッジが五百円。乳がん検診を呼び掛けるため浜松シティマラソンで医師が着てる。渡辺医師は「通院中の患者さんが別の病院で手術を受けることもある。せめて市内で療を受けられるよう複数の医療機関の医師で治療方針を統一したい」と活動の意義を説く。

「浜松といえはウナギ」と最多得票した。ウナギの顔は鼻がぱっちり。まつげもある。角谷看護師は「みえる診療」の意味を込めました。全力でお世話するといふ気持ちで着けています。「シンボルができた」。「ピンクうなぎリボン」はバッジが五百円。乳がん検診を呼び掛けるため浜松シティマラソンで医師が着てる。渡辺医師は「通院中の患者さんが別の病院で手術を受けることもある。せめて市内で療を受けられるよう複数の医療機関の医師で治療方針を統一したい」と活動の意義を説く。

乳がん予防 浜松版シンボル

合同検討は二〇〇五年に始めた。現在、浜松市葵区呉服町の三井住友海上ビル(〒420-0031)054(255)2121(FAX)054(255)2124豊橋総局0532(52)7181(FAX)0532(54)4655

がん情報局のスタートは「検診に二人誘って50%」。20%弱に止まる市内の乳がん検診率を上げるのも目標だ。「バッジの収益は検診普及に生かしたい」と渡辺医師。

浜松・遠州版

ニュース・情報は下記へどうぞ

- 浜松・報道部 053(421)6036 (FAX) 053(421)5218
- 湖西支局 053(576)5081 (FAX) 053(576)5078
- 細江通信部 053(523)0661 (FAX) 053(523)2674
- 天竜通信部 053(925)2540 (FAX) 053(922)0003
- 浜北通信部 053(587)5831 (FAX) 053(586)7911
- 静岡総局 静岡市葵区呉服町1の2 三井住友海上ビル (〒420-0031) 054(255)2121 (FAX) 054(255)2124
- 豊橋総局 0532(52)7181 (FAX) 0532(54)4655

購読のお申し込み

0120-139-739

広告のお申し込み

053(421)9118

折込みのお申し込み

053(466)0547